

木創研オフグリッドシステム

木創研は、日本の「木」と「自然力」を生かした「パッシブ型ゼロエネルギーハウス」を創造し、2050年のCO2排出量削減80%を目標とした**低炭素社会**の実現と、次世代のための**木の文化の創造**を目的として研究を行っています。

2015年法人設立以来、パッシブ手法による環境に配慮した住宅や、木を活かしたゼロエネルギーハウス、エコハウスを数々提案してきました。これらを「**木創研の家**」と呼んでいます。

「木創研オフグリッドシステム」は、**スマートソーラー**と**木創研**が協働し、必要なエネルギーは自給しながら、住宅の性能と、蓄電池・給湯タンク等を活かして、エネルギー的にほぼ自立した住宅を実現するべく実証実験を行っています。

発電・蓄電・電力制御・コンテンツ (AI・S-HEMS)を備えた

次世代・スマートハウス

